

RKU Today

流通経済大学広報誌 vol.1

[特集] スポーツ健康センター
緑あふれる龍ヶ崎キャンパスに完成



流通経済大学

AUTUMN 2007

CONTENTS

RKU Today vol.1
Autumn 2007

- [特集]
- 04 **スポーツ健康センター
緑あふれる龍ヶ崎キャンパスに完成**
文：平島敏幸（経済学部講師）
- [対談]
- 10 **流通経済大学のこれからと
『RKU Today』の目指すもの**
宇田川靖 理事長 × 野尻俊明 学長
聞き手：馬場啓一（法学部教授）
- 12 **Close Up!
流通経済大学 [教職員紹介]**
- コラム [馬場啓一のRKUウォッチング]
- 14 **龍ヶ崎が好きな理由、
どうしても新松戸が良いわけ**
- [クラブ活動]
- 16 **中野雄二 サッカー部監督
「流通経済大学が強い真の理由を
日本中の人に知ってもらいたいんです。」**
- [OB/OG訪問] 立川が聞く
- 18 **三嶋隆夫 さん（1969年卒業）
「お天道様に正々堂々と挨拶できる人生」**
取材：立川和美（社会学部講師）
- [留学生紹介]
- 20 **エンフトル・バットトル 君（モンゴル出身）
「目標は北京オリンピックです！」**
取材：齋藤 明（総務課）
- 21 **出版会・校友会からのお知らせ**
- 22 **RKU Schedule（2007年9月～12月）**
- 23 **流通経済大学 Q&A・講演会のお知らせ**

表紙イラスト：佐々木悟郎

巻頭言

空理空論を語らぬ実学主義を標榜し、当初は経済学部のみで龍ヶ崎の地に開学して40有余年、新松戸キャンパスも加えた流通経済大学は今日、5学部8学科大学院4研究科を数える総合大学に発展いたしました。

これまで2万7000人を超える卒業生を世に送り出し、他を圧倒する高いレベルを誇る就職率と、日本一に輝くサッカーを始めとするスポーツを通じた人間教育で知られ、いま建学45周年を目前にしています。

ここにおいて本学に対するなお一層のご理解をいただくため、大学内外に情報を発信することを目的とした『RKU Today』を刊行する運びとなりました。

若さと知性、そして勢いに溢れる流通経済大学の真の姿を知っていただき、未来に輝くこれからの見守り、ご支援賜りますよう、切にお願いする次第です。

スポーツ健康センター 緑あふれる龍ヶ崎キャンパスに完成

二〇〇七（平成十九）年春、流通経済大学の龍ヶ崎キャンパスにスポーツ健康センターが完成しました。今回は龍ヶ崎キャンパスの新たなシンボルともいえる

この総合施設を多角的に紹介します。

文・平島敏幸（経済学部講師）



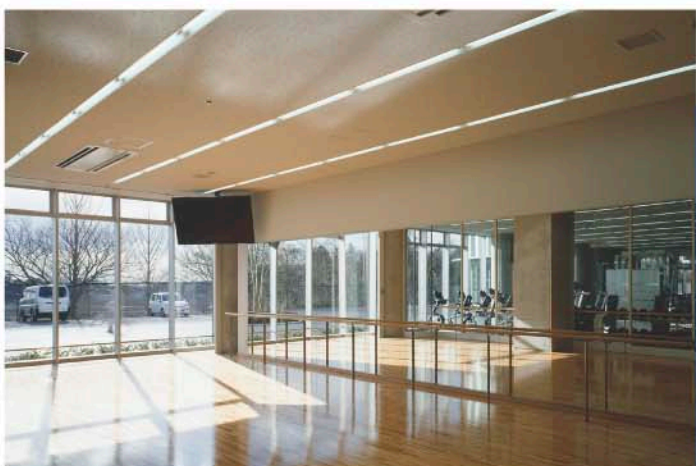
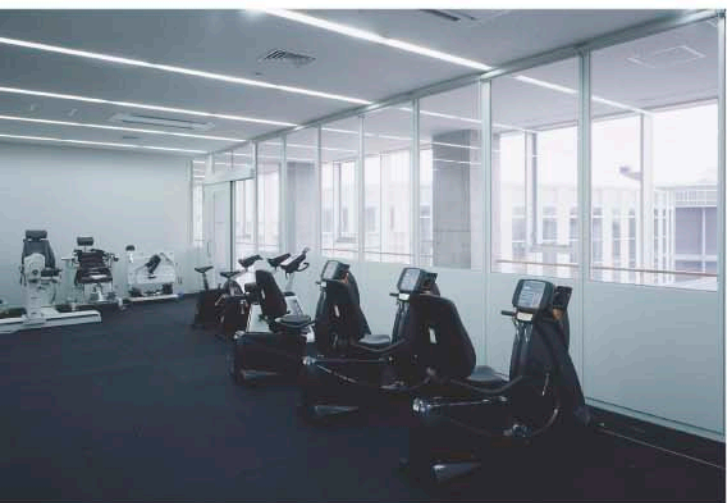
龍ヶ崎キャンパスの新たなスポーツの拠点

「スポーツ健康センター」は、二〇〇七年四月に流通経済大学龍ヶ崎キャンパスにオープンしました。アリーナ棟・教室棟・エントランス棟の三つの建造物を、低層のプラザがつなぐ複合建築です。地上三階、地下一階の四層構造で、建物の最高部は地上約一八メートル、延床面積は約六四〇〇平方メートル、スポーツ健康科学部の学生をはじめとする学生や教職員、また地域住民の利用も可能にするように、安全かつ最新の施設・設備を備えています。

キャンパス北側の正門から最奥部の丘の上に配され、丘の下からはアリーナ棟の銀色のドーム型天井を望むことができます。センターは外観・内容ともに注目され、すでにテレビドラマ「花ざかりの君たちへ」のロケでも使用されました。

スポーツ健康科学部の開設 ——最新の施設・設備

昨二〇〇六年四月、流通経済大学はスポーツ健康科学部を開設しました。スポーツ健康科学は、スポーツや健康をさまざまな角度から科学的に研究するとともに、スポーツを切り口にして社会や人生にいたる問題の解決を目指す新しい学問です。新しい学問ですから、その研究・教育のために、最新の設備が必要で、この必要を満たす施設・設備が、スポーツ健康センターなのです。



スポーツ健康センター 緑あふれる龍ヶ崎キャンパスに完成

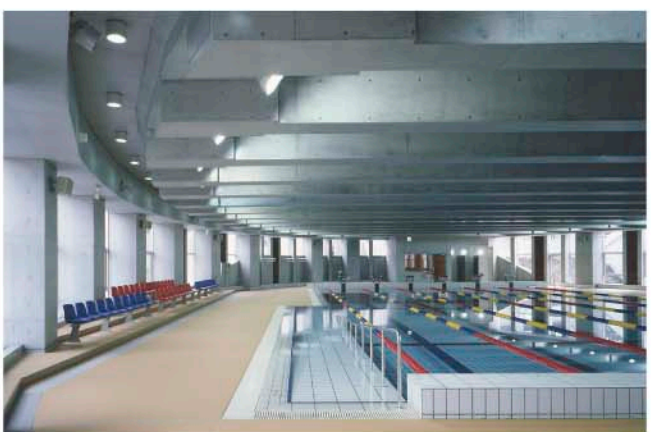
新カリキュラムへの対応 ——機能性の重視

スポーツ健康科学部は、社会の形成者として高い倫理性を備えた人間を育成すべく、救急救命を通じた生命の教育をはじめ新しいカリキュラムで教育を行っています。スポーツ健康センターは、そのカリキュラムの効果が十分に発揮されるように、さまざまな教室が機能的に配置されています。

「龍・流協定」

——地域社会への開放

流通経済大学が所在する龍ヶ崎市は、二〇〇七年四月に「スポーツ健康都市」を宣言しました。全ての市民がスポーツに親しめる環境を作り、楽しく健康的な生活を送ることができるまちづくりをするとの趣旨です。そして流通経済大学は、龍ヶ崎市と連携して市の活性化と大学教育の向上を目指す「龍・流協定」を結んでいます。ですから、スポーツ健康センターは、地域の人々の健康を増進する役割を果たすことも期待されているのです。

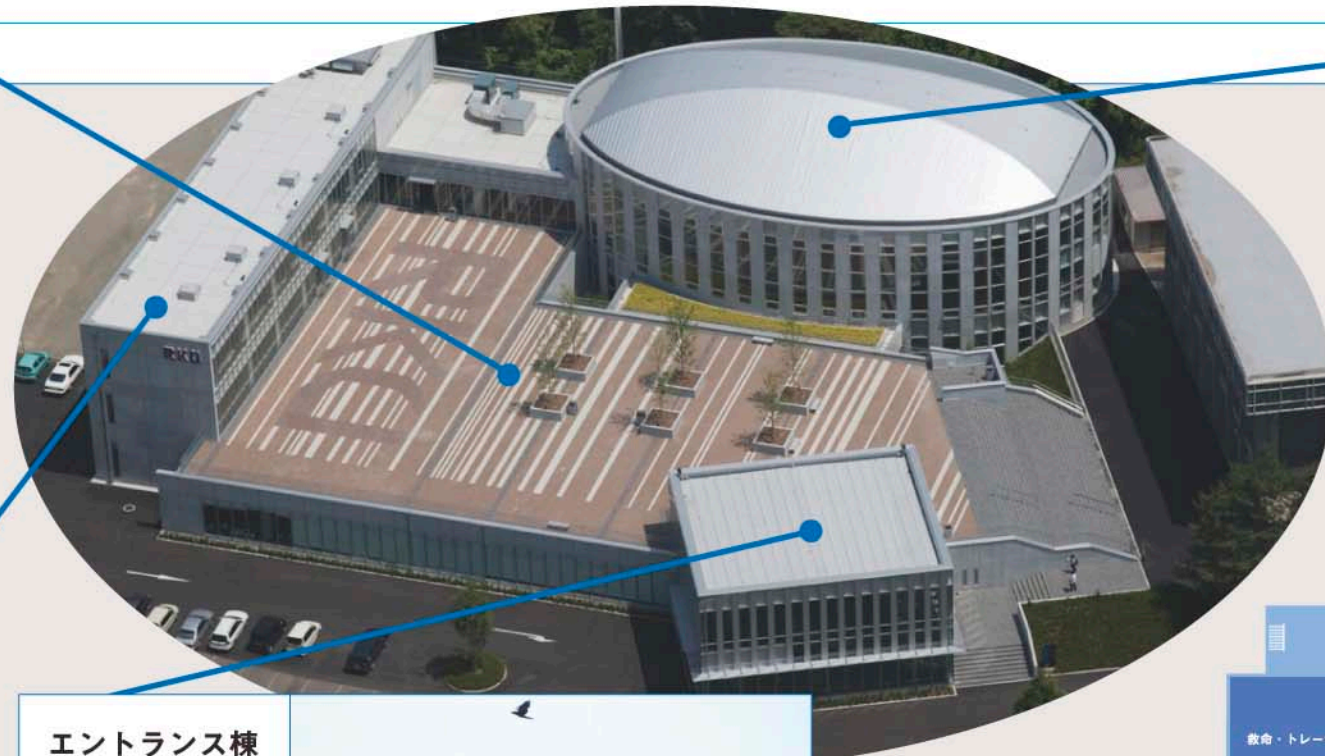


地域社会のスポーツ拠点 ——安全への配慮

スポーツ健康センターは、在校生だけではなく地域の多くの人々が集うであろうことが予想されています。その施設は誰もが安全に、そして老若男女の区別なく快適に使用できることが必要です。そのため、スポーツ健康センターは、環境、アメニティ、バリア・フリーに十分配慮して設計されています。建物は免震構造を取り、センター内に段差はありません。プールにも車椅子で入ることができます。



プラザ



アリーナ棟



教室棟



エントランス棟

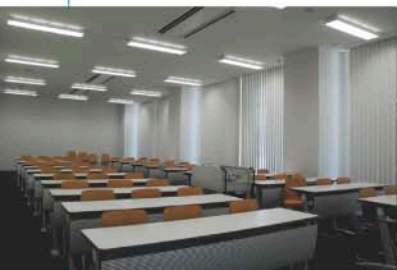
スポーツ健康センター
緑あふれる龍ヶ崎
キャンパスに完成



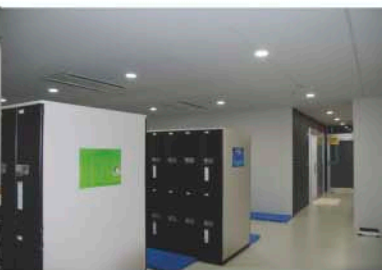
1F

スポーツ健康センター1階は、アリーナ棟・エントランス棟・教室棟がプラザ低層部でつなぐれ、最も広い床面積を持つ層です。それぞれの棟の機能は、プラザ低層部によって有機的に結合されています。

なお、地下1階は機械室やプール槽室、倉庫などが配され、文字通り縁の下の力持ちとなっています。



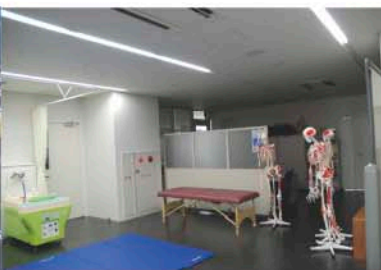
講義室



更衣室・シャワールーム



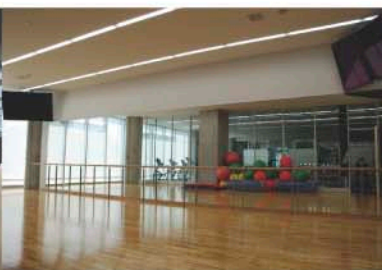
救命・トレーナー実習室



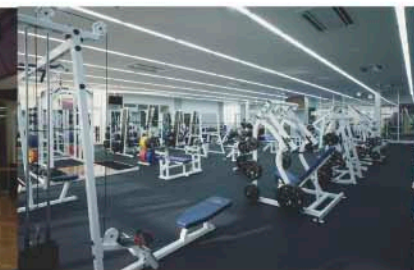
トレーナールーム



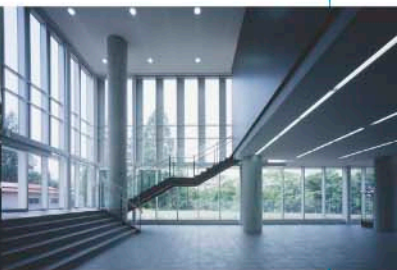
プール



エアロビクススタジオ



トレーニングルーム



エントランスホール
(スポーツ・ギャラリー)

**エントランスホール
(スポーツ・ギャラリー)**
エントランス棟一階にあり、セレモニーや展示ギャラリーとしても利用することが出来ます。

トレーニングルーム

広さと機器の充実において、常磐線沿線で他に類を見ないといわれています。ダンベルやベンチプレスといった通常の機器をはじめ、ライフフィットネス・トレッドミル(ランニング・マシン)やストライプ(一台で身体のさまざまな部位のトレーニングをすることができる機器)など二〇種類以上の最新のトレーニング機器が備えられています。こうした機器はスポーツ健康科学の最先端の成果に裏付けられていて、理論と実践の結合という意味を持っているのです。早い時期に学生がこうした最新機器に触れていれば、スポーツ関係の職場に就職して機器を扱うにしても、戸惑うことはありません。

エアロビクススタジオ

床は木製で、エアロビクスに限らず、ヨガなども可能です。壁は、自分の動作の確認ができるように一面鏡張りとなっています。六五型TVが二台設置されているので、映像を使用した実技・実習の授業も可能です。

プール

六つのレーンを備える、二五メートルの温水プールです。深さは一メートルですが、二五メートルのうち三分の一は二メートルの深さになっていて、ライフセービングの実習に使用されます。そのため、水に沈む人形やレスキュー・ボードも備えられています。安全のために、監視室や採暖室(低温サウナおよびジャグジーバス)も設けられ、スロープが使用されたバリアフリー構造になっています。

トレーナールーム

ワールプールやトレーナーズベッド、製氷器の他各種機器を備え、リハビリテーションやトレーニングの実習を行います。授業のみならず、トレーナー養成の課外講座でも使用されています。

写真左に見える緑色の機器がワールプール。ジャグジー機能を備え、下半身や手足といった部位のリハビリや疲労回復を行います。写真中央がトレーナーズベッドで、顔面部分に穴が空けられているので、うつ伏せになりながら処置を受けることができます。

救命・トレーナー実習室

三〇台のAED(自動体外式除細動器)トレーナーと四〇体のAEDレサシアントレーニングシステムスキルレポーターモデル(ダミー人形)など、救急救命教育に必要な器具類が完備されています。テーピングやマッサージなどのトレーニングもできます。なお、スポーツ健康科学部では、日本赤十字社救急法救急員の資格を取得することが全員に課せられています。

講義室

センター内に設けられた授業用教室で、約七〇名の収容が可能です。一階に設けられた理由は、実習室やプールといった「現場」と近接させることにあります。大型スクリーンとプロジェクターを備え、映像を使用する授業もできます。



将来構想

利用者の拡大

スポーツ健康センターは、オープン以来、スポーツ健康科学部の授業で使用されてきました。これに加えて、課外講座やサークル活動でも利用されています。スポーツ健康科学部以外の学生や教職員については、10月から利用できる見込みです。

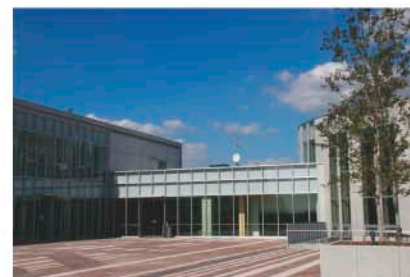
先に記したように、「龍・流協定」や龍ヶ崎市のスポーツ健康都市宣言によって、地域住民への開放は最も期待されているところです。しかし、この点については、第一に安全が十分に確保されなければなりません。そして第二に、大学と市との双方の興隆がはかられる形でセンターが利用されることが重要です。そのためには慎重な検討が必要です。

とは言え、流通経済大学は30年以上にわたって公開講座を行い、地域との交流を深めてきました。スポーツ・健康に限っても、ウォーキング講座やフィットネス講座といった活動を進めています。このような地域との連携・交流の基礎の上に立って、現在、学内で議論が進められています。市民への開放はそう遠くない将来に実現することでしょう。

スポーツ健康
センター
緑あふれる龍ヶ崎
キャンパスに完成

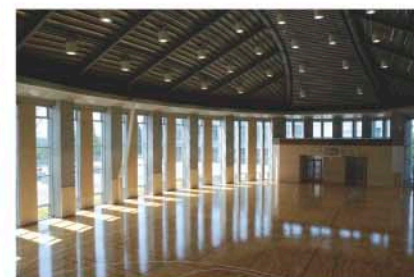
メインアリーナの増設

現在のアリーナはサブアリーナであって、近い将来にメインアリーナの増設が予定されています。増設場所は教室棟に続く部分で、教室棟2階が入口になる予定です。細部の検討が終わっていませんが、増設の暁には、流大や地域のスポーツ拠点として、大きな役割を果たすことになるでしょう。



ホワイエ

サブアリーナへの入場スペースです。教室棟のこの階は、将来増設が予定されているメインアリーナへの正面入口になりますので、それと連動して、メインアリーナのロビー機能を担うことにもなります。



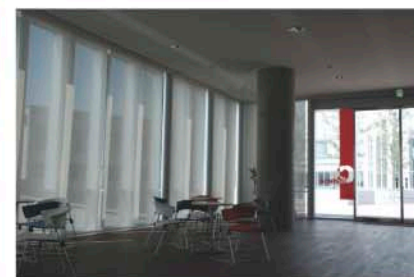
サブアリーナ

さまざまな競技に使用することができる屋内運動場です。バスケット1面、バレーボール2面、バドミントン4面、フットサル1面での使用が可能です。全面ガラス張り、カーテンが自動開閉します。



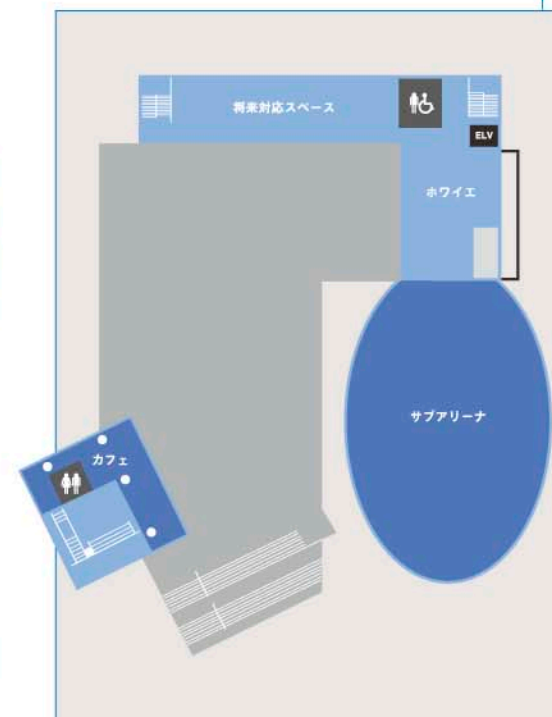
プラザ

さまざまなイベントに対応できるように、広い空間がとってあります。



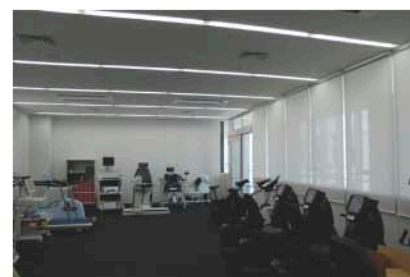
カフェテリア

学生のコミュニケーションの場です。将来は、市民のコミュニケーションの場となることも予想されます。



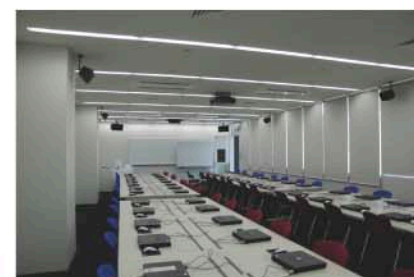
2F

アリーナ棟・エントランス棟・教室棟各棟の2階部分はそれぞれ独立した機能を持ち、また外観上も独立していますが、プラザ部分が通路となってそれぞれに入ることができます。



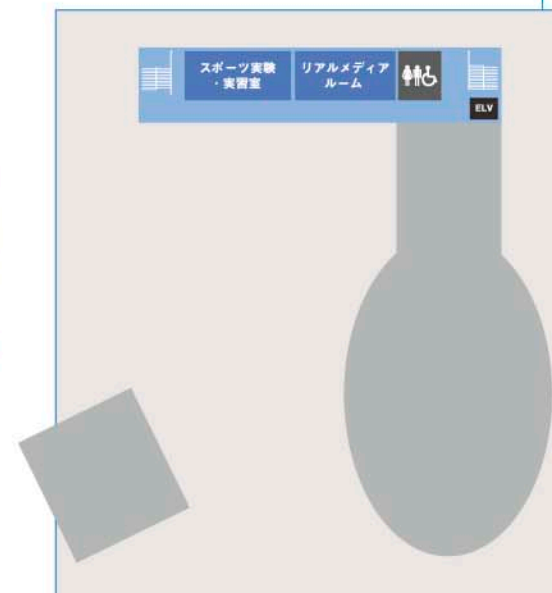
スポーツ実験・実習室

バイオデックスシステム（多用途筋機能評価運動装置）をはじめ、動作の解析や統計処理に必要な機器類が完備されています。測定評価実習などで使用されますが、3年次からの授業ですので、本格的な使用は来年度からになります。



リアルメディアルーム

学生用パソコン56台が設置され、5.1サラウンドの大型スクリーン、プロジェクターが設けられています。このシステムによって、身体の微細な動きまで鮮明かつリアルに体感することができるのです。



3F

3階部分は基本的に教室です。



理事長 自分たちの通っていた大学は、いまどうなっているのだろうか、卒業生は、しよっちゅうではないでしょうか、考えると思うのです。そういう質問やニーズに応えられるものでなければなりません。それから、現在ご子弟を本学に通わされているご父母にとって、入学式とか卒業式だけでは窺えない流大の姿を、きちんとお伝えする義務があると思います。そういう努力が、結果としてOB、ご父母、そして在校生の結びつきの強さに反映するのではないのでしょうか。学長 その通りですね。「RKU Today」の役割はそこにあると思います。

この『RKU Today』が媒介となって、流通経済大学スピリッツみたいなものが醸成され、内外に示されていけばいいと思う。(宇田川理事長)



さらに言うなら、内向け、すなわち在学生と教員、そして職員の間でのコミュニケーションの、より一層の深化を図るためにも、このような広報誌は機能すると思います。理事長 従来、大学の広報誌というと論文集的なイメージが強かったのですが、「RKU Today」は、できる限り平易な内容で、等身大の流通経済大学をお伝えできれば良いと考えています。——サッカーなどスポーツの好結果で、母校の存在を誇りに思うOBは大勢いますよね。学長 その通りです。でも、そういう懐かしさや誇らしさを一つに統合して、流通経済大学を総体として纏め上げていく方策が、これ

在学生と教員、そして職員の間でのコミュニケーションの、より一層の深化を図るためにも、このような広報誌は機能すると思います。(野尻学長)



聞き手：馬場啓一（法学部教授）

[対談]

流通経済大学のこれからと『RKU Today』の目指すもの

宇田川靖 理事長 × 野尻俊明 学長

大幅にリニューアルされた本誌『RKU Today』の刊行にあたり、「流通経済大学のこれからと『RKU Today』の目指すもの」というテーマで、本学の宇田川理事長と野尻学長にお話を聞きました。

——まずひとことお願いします。学長 建学四十五周年を目前に、このような広報誌が完成し、学内外の皆様にご提示できることになりました。喜びとするところです。——理事長のご感想は。理事長 大学経営に対する意見や分析が様々な位相で語られている現在、知性と個性に溢れた本学の姿を一人でも多くの方々に知っていただくために、しかるべき広報誌が必要であると常々語っておりましたので、非常に意を強くしております。——卒業したらそれでおしまい、というのでは寂しいですね。理事長 そのとおりです。実学主義を謳った本学には独特の愛校精神がありますが、OBや在校生、そしてご父母といった各レベルで、肌合いが異なります。それを束ねるためにも、このような広報誌が重要です。学長 今日のAO入試の実態とか、パソコンが教室にズラリと並んでいる姿は、卒業生の一人としても、創立当初とは隔世の感があります。それをより深くOBの皆様やご父母に知っていただくにも、実には有益です。——今後の方針について一言。

までありませんでした。理事長 その意味でも、この「RKU Today」が媒介となつて、流通経済大学スピリッツみたいなものが醸成され、内外に示されていけばいいと思う。学長 付属高校や、龍ヶ崎と新松戸などの地元の方々といった、普段身近にいるのに、どうもよそ行きの感があったお付き合いも、なんとかこれで収斂できるような方向に持っていけたらいいですね。理事長 本当はそうしたいし、現実にはそういう欲求もあるはずなのに、どうもそれを上手にすくい上げることでできていなかったと、これまで感じていました。だから、それは是非やっていきたい。学長 結果としてそれが就職活動や、入学希望者の好感度増大に繋がっていくわけです。理事長 つまり「そうか、あの大学か」というイメージ想起を進めるためにも、これは大切なことではないですね。だから当初は年に四回でも、可能であればもっと増やしていく方向に持って行きたい。情報発信の質と量を、どう考えるか、今後の課題でしょうね。——ありがとうございます。



[総務部 総務課]
篠 敬一郎 課長補佐

秋学期の授業開始日、ある男子学生が就職の内定報告に来てくれた。卒業後はSEを目指すという。私が総務課にくる前から知る学生で、律儀に知らせてくれた。コソコソタイプの彼。エンジニアとしてぜひ活躍してほしいと願う。同日、携帯電話に出ると、OGからの元気な声。転職し、新しい仕事が始まったとのこと。卒業後、彼女はベンチャー企業に勤めていた。頼りにされ忙しい毎日、持ち前のガッツでこなしていた。前職を投げ出したわけではないことを、彼女を知る者は分かっている。その日の夕方、彼女の後輩から連絡があり、仲間うちで転職祝いをするという。ぜひ出席したいと伝えた。

偶然にも就職の報告が重なったが、普段のこうしたやりとりが、職員冥利に尽きるというもの。接する分だけ、大学への思い入れも強くなる。11月には恒例の学園祭がある。嬉しいことに卒業生が顔を出してくれる。今年もまた彼らと共に一大イベントを楽しみたい。

学生、卒業生からもらう近況報告が何よりの喜び



[スポーツ健康科学部]
亀山 巖 講師

「カメさん」、「カメちゃん」で通っている。なんとなく甲羅を脱ぎ捨てて身軽になった海亀に似ている。筋骨隆々だが、身のこなしも軽やか。アメリカンフットボールの選手だった。敏捷性と当たりの強さが要求されるランニングバック。高校時代にアメフトを始めて筑波大学へ。活躍が認められて関西の実業団チームへ。いくつかのタイトルをとったが、若い有望な選手の入団で「トコロテン式に押し出され、若くして定年になった」ような挫折感を味わう。

そのあと、コーチ補佐などの手伝いをしていたが、30歳になって筑波大学の修士課程に進んだ。この間、流通経済大学の体育指導センター所員兼体育教員としてアメフト部のコーチを務め、いまは監督。本校のアメフト部は関東リーグ3部に所属。目指すは、「鉄人フットボール」。鋼のような肉体に鍛え上げて個人の力を高める。そのうえで、「心」を込めたプレーをする。

アメフトに魅せられたのか、いまだ独身である。
(粟田房穂・記)

アメフト部監督が目指すのは「鉄人フットボール」



[法学部]
佐野 栄一 教授

多士済々で知られる法学部の教員の先生方の中でも、佐野栄一教授は19世紀のフランスの文化を重点的に研究されていることで知られる。「フランス革命からナポレオンの時代を経て、19世紀の先進国だったフランスのことを調べると、現在の日本の貨幣価値やその金利政策の問題が浮かび上がってきます」

例えばかなり長い時代1フランは今日の円で500円で安定していたが、それはなぜか。「日本のいい加減な貨幣価値基準と比べて、フランスでは純金そのまま貨幣の価値を保証してくれていましたから、人々は安心して年金生活を送ることができました。第一次大戦まで変わらなかった。つまり貨幣にそれだけの価値があったのです」

呆れるほどの低金利が続く日本の現状を考えると、昔のフランスの方がよほど暮らしやすかったらしい。

(馬場啓一・記)

昔のフランスの方が現代の日本より暮らしやすい？



[流通情報学部]
関 宏幸 准教授

私は、人間工学が専門で修士論文はロボットのCGを用いた教示画面の提案について論じたのですが、現在行っている授業では、それを人間に応用したものの開発を行っています。これはどういうことかという、まず、コンピューターの中に人間の骨格を作成し、人間の働く環境を設定してシミュレーションを行うというものです。この際、人間工学の知識を取り込むことによって、総合的に人間が働く環境を予測することができるわけです。このプロジェクトの構想は、実は学生時代から温めていたものなのですが、これが完成すると、今まで以上に効率的な、働きやすい、新たな職場の環境を作り上げることによって、役に立つと考えられます。

プライベートでは、理工学部出身であることもあってか、車(1台)やオートバイ(2台)が趣味です。実は、先日新しいヘルメットを購入したばかりです。休日は本当は遠くへドライブに行きたいのですが、なかなか時間がとれず、今は家の周りを運転する程度といったところなんです。(立川和美・記)

学生時代から温めていた構想を現実のプロジェクトに



[社会学部]
中村 美枝子 教授

最近の授業で感じたことのひとつに、学生の皆さん自身の内部評価、そして学生間での他者評価が極めて重要だということがあります。私は、産業組織心理学という授業を担当しているのですが、そこでは二人一組になって、「モチベーション」などテーマを設定して、パワーポイントで発表を行ってもらっています。今年度は人数の関係で3週間くらいかかったのですが、各々の発表に対して、学生による評価(他者評価・自己評価)を取り入れたところ、発表の進行に従って非常に上手になっていくんですね。これは、他者の試行錯誤を見ることによって学習が行われた結果だと思えます。他にも、心理学実験法の授業では、レポート作成において繰り返し作業を行ってもらっていますが、これも、数回書き直すと相当レベルの高いものに仕上がってきます。単に教員からのアドバイスのみではうまく伝わらなかった部分などが、自己評価や学生間での評価によってカバーされるのではないかと考えています。(立川和美・記)

自己評価と他者評価を取り入れ充実した授業展開



[経済学部]
原田 英生 教授

原田教授は、1949年の埼玉県生まれ。浦和高等学校(演劇部でした)卒業後、東京大学理学部天文学科に進まれました。星を眺めるイメージが強いのですが、実際はコンピューターとにらめっこすることが多い。もっと人間的、社会的なことがやりたいと、卒業後は(財)流通経済研究所に就職され、その後、1983年に本学に着任されました。

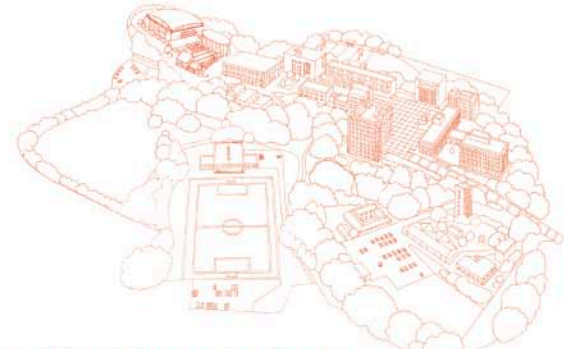
専門は流通政策論ですが、最近では、「まちづくり」をテーマにされています。「まちづくり」とは、単に商店街だけを対象とするものでなく、地域的な広がりの中で生活環境を向上させるという視点による総合計画です。

大学院経済学研究科長のかたわら、日本商業学会の会長、経産省中小企業政策審議会や日本商工会議所まちづくり特別委員会の委員もお務めで、昨年までは龍ヶ崎都市計画審議会会長も務められていました。

洒脱な人柄で知られ、家庭では2人の息子の父親です。純米大吟醸を飲みながら、ジョーン・バエズを聞くのが至福の時間、とのことでした。(平島敏幸・記)

天文学科の卒業ですがメインテーマは「まちづくり」

「馬場啓一の R K U ウオッチング」 1



龍ヶ崎が好きな理由、
どうしても新松戸が良いわけ

全国でも珍しいキャンパス選択制を取っている流通経済大学では、龍ヶ崎と新松戸どちらを選ぶかについてそれぞれに熱烈な支持者がいて、その主張を譲らない。

「新松戸キャンパスは、龍ヶ崎キャンパスと比べると、楽な点が二

つある」こう書くのは、新松戸を選んだ法学部二年の根本俊輔君。「まず初めに、授業間での教室移動が、非常に楽な点である。龍ヶ崎の場合、校舎がバラバラなため、教室移動が困難な上に、迷いやすい。私自身も、龍ヶ崎には何度か行ったが相当迷った。しかし、新松戸の場合、教室が全て同じ校舎にあるので、まず迷うことはなく、移動も楽である」

非常にユニークなキャラクターで、卒業後は動物園で飼育係勤務を志望している根本君だが、ここでの意見は実に真つ当であり、賛同する向きも多いと思う。ちなみに昨年度の当方の現代文章論ゼミの学生だ。

こう続ける。「次に、エレベーターがある事だ。

これは、新松戸キャンパスの様な、高い建物には、重要な存在である。例えば、一階から十一階に階段で昇るとする。これでは、健康には良いが、授業前から疲れ果ててしまふ。そこで、エレベーターを使えば、高い階への移動も楽であり、授業前から疲れず、授業に専念出来る。ただ、混まなければの話である」

龍ヶ崎の学生の意見はこうだ。「私が流通経済大学を志望した理由は、障害者の立場から心理学と福祉学を学び、社会福祉士と認定心理士の資格を取得し、将来それを活かした職業への就職までを見通した時、この大学を知る方からの情報やオープンキャンパスへの参加で、最良の大学と考えたからである」

社会学部一年生で、龍ヶ崎での現代文章論の講義を取っている野内良美さんの文章である。彼女は点字用の文章作成機械を使用し、それをプリントアウトして提出する。大変だと思うが、文章を書くことが好きなようだ。

「私は、四歳の時に薬害により視覚障害者になりました。今まで生きてくる中で、行政や教育から日

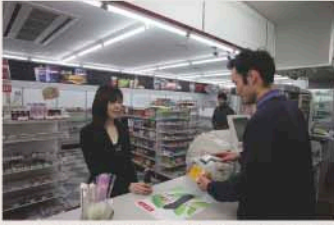
常生活の様々な場面で様々な「福祉」を受けてきました。そこで私が感じたことは「福祉」を挟んで、する側の「障害者で何も出来ないから助けてあげよう」という思い込みからくる、過剰すぎたり無意味な援助の煩わしさを、空しさで感じた。そればかりか、私のように「福祉」を受ける側からみると優遇されすぎるとさえ、感じてきたのです」なかなか立派な文章である。途中を略すが、最後はこう締めくくられている。「本当に支援の内容は、受ける側から決めていくものであると思います。私が経験してきたような『福祉』ではなく対象者が求める本当の福祉とは何かを、集団や個人、支援する側される側、色々な立場からの人が理解する心理学を通して学びたいのです。そして将来は様々な立場の人を理解しながら、直接相手と相談して、暮らす生活や生活をプランニングしていくケアマネージャーになりたいと願っています」

龍ヶ崎か新松戸か、学生は学生なりに様々な意見があるようである。ちなみに当方は、この原稿を龍ヶ崎の七号館の研究室で書いている。

龍ヶ崎と新松戸 流通経済大学の 2つのキャンパス

龍ヶ崎キャンパス 緑豊かな自然環境

龍ヶ崎キャンパスは、JR常磐線佐貫駅からシャトルバスで約12分、緑豊かな自然環境に恵まれた郊外型キャンパスです。各種教室はもちろん、図書館、900台以上のコンピュータとインターネットに接続された学内ネットワークや、ラグビー・サッカーグラウンドなどの運動設備など、落ち着いた雰囲気の中で勉強やスポーツに打ち込める環境が整っています。また、自動車通学を希望する学生のための駐車場も整備されています。



キャンパス内には丸善ブックセンターとコンビニ am/pm があります。



本誌今号の特集でも紹介しているスポーツ健康センター。



サッカーグラウンドなどの運動設備も充実。



学生用の駐車場があり、自動車通学も可能。



キャンパス内には食堂とカフェテリアが4つ、手頃な値段で食事やドリンクを楽しむことができます。



龍ヶ崎キャンパスの学園祭は、創立以来伝統の「つくばね祭」。

新松戸キャンパス 行動的な都市型環境

新松戸キャンパスは、JR常磐線・武蔵野線の新松戸駅から徒歩4分の交通アクセスに恵まれた都市型のキャンパスです。「学生が主役」をテーマとし、学生の自発性をサポートする魅力的な環境とツールが整備されています。インターネット利用と同時にくつろいで英語が学べるインターネット&イングリッシュカフェや、情報系と図書機能を統合した学術情報アリーナなど、最新の設備と環境が整った学習・生活空間です。



個性的な食堂とカフェがある新松戸キャンパス。ガラスを多用した校舎と同様、開放的な雰囲気です。



新松戸キャンパスの学園祭は、地域の方との交流の場ともなる「青春祭」。



キャンパス内では、電子マネーEdyが利用可能。

キャンパス選択制とは？

茨城県の龍ヶ崎と千葉県の新松戸にキャンパスを持つ流通経済大学では、学生が入学時に2つのキャンパスから希望する方を選べる「キャンパス選択制」を導入しています。どちらを選択しても、すべての学生が同じ条件で学ぶことができるよう、両キャンパスとも同一のカリキュラムで授業を開講しています。※ただし、スポーツ健康科学部の授業は龍ヶ崎キャンパスのみの開講です。



【クラブ活動】

流通経済大学が強い 真の理由を 日本中の人に知って もらいたいんです。

中野雄二 サッカー部監督

昨年の関東大学サッカーリーグで悲願の初優勝。
今年も内閣総理大臣杯優勝と早くも栄冠に輝いた
流通経済大学サッカー部。ピッチ上の選手たちを鼓舞する
中野雄二監督、選手たちの食事など生活面を支える博子夫人に
RKUサッカー部の強さの秘密と今後の目標を伺った。

取材：岩崎 武 撮影：Norico

充実したハードとソフト。
いつでも優勝争い
できるという自信

——流通経済大学の監督に就任した
経緯を教えてください。

当時学長だった佐伯学園長がサッカー部の監督を探していました。同じ法政大学卒業という縁で誘っていただきました。しかし、当時私はJFLの水戸ホーリーホック（現J2）

の監督でしたので、一度丁重にお断りしたんです。でも一年後、縁があって再びお誘いいただきました。それでお世話になろうと決心しました。

——最近のRKUサッカー部の躍進は素晴らしいですね！

十年前に来たときは同好会と体育会の中間みたいな感じだったんですけどね。練習で部員全員揃うことが一年間一度もなかったほどです。ところが彼らが持っているいいところ

だけを伸ばしてあげようと思って指導したら関東大学サッカーリーグの2部に上がっちゃったんですよ。これは今でも奇跡だと思ってます。

その後、徐々に力を付け、去年は関東大学リーグで初優勝。今年は内閣総理大臣杯に優勝し、大学リーグでも連覇を狙っています。部員数も一年目の二十数名から現在では二〇〇名を超える大所帯になっています。

——RKUサッカー部の強さの要因は何ですか？

いくつかの要因がありますが……。インターネットなどでRKUのハード面やコーチングスタッフ、寮の充実ぶりを知って将来プロ入りを指す子たちが飛び込んでくる傾向はありますね。加えて大きいのは攻撃的なサッカーを貫いてきたこと。この先、RKUがありとあらゆるタイトルを取る可能性はあると思います。

優勝するためには運も必要なので全ての大会で優勝するとは宣言できませんが、これから何年も先まで、参加する大会でも優勝争いはすると思います。そう言い切れるほど戦力が充実しているので。数多くのJリーガーを輩出できるようにもなっています。

でももらいたいということです。なぜRKUが強いのか？ということを見んなが真剣に考えてくれれば、そのことが日本サッカーに対するヒントになると思うからです。

龍ヶ崎を第二のふるさとに

——奥様にお伺いします。二〇〇人以上の食事を毎日用意するのは大変ではないですか？

夫人 それは大変ですよ。毎日お米を六〇キロ、お肉を四四キロ消費しますから。部員たちにも当番で手伝ってもらいます。子どもたちはかわいいですね。毎日朝から晩まで一緒にいると情が移っちゃって……

監督 僕が昔、実業団の監督をやっていた頃から選手たちにご飯を作ったりしてたんです。当時から相撲部屋のおかみさんの立場だったから。でも今のRKUのサッカー部を考えると、妻が倒れたら全てが成り立たなくなりますよ。RKUが強くなったのは妻のおかげです。月曜日は練習休みですけど、妻は練習が休みでも食事の仕事をありますからね。夫人 そんなに褒めたって何も出ないわよ（笑）。

——これからの目標を聞かせてください。

今強く思っているのは、RKUの強さの真の理由を日本中の人に知っ

個人としては……サッカーを通して僕ができる範囲で次の世代の子どもたちにハード面、ソフト面を含めて良い環境を残してあげたいですね。ただ、自分がいつまでもこの仕事をやることによって次の世代の人間の活躍する場がなくなってしまうのは決まっています。決まっています。決まっています。どこかのタイミングで次の監督に任せたい。この仕事が好きなもので、何らかの形で関わってはいたいですけど。

RKUとしては、大学スポーツでもたくさんの方が観に来てくれるようなサッカーを作り上げたいです。アメリカの大学スポーツのような形で。単に大学の一運動部というよりはもうちょっと地域に根付いた形で貢献して認知をされたいな、と。「あのお兄ちゃんたちが試合をするんだ、応援しよう！」と地域の人から思われるような関係が理想です。大学の協力もあって、今は地域のお祭りの警備に行ったりもしています。選手たちも意外と楽しんでやっていますよ。彼らがこの先の人生で壁にぶち当たったときに龍ヶ崎を第二のふるさとと思ってくれるといいですね。言葉で「ふるさと」と言っても、四年間の思い出が本人たちの心の中に強く残らないとふるさとと思えないし、戻っても来ないですから。



中野雄二 RKUサッカー部監督

茨城県出身。高校生、大学生時代はサッカー部主将を務めるなど、選手として活躍。その後、1987年に水戸短期大学付属高等学校サッカー部監督、1992年にはプリマム株式会社サッカー部監督に就任し、それぞれ優秀な戦績を残した。1998年4月、流通経済大学サッカー部監督に就任。数々の戦績を残すとともに、Jリーグへも多くの選手を送り出している。





OB/OG訪問
立川が聞く
1

お天道様に 正々堂々と 挨拶できる人生

三嶋隆夫さん
(一九六九年 経済学部卒業)

OB/OG訪問の一回目は、本学第一期生で、現在、福岡にあるフランス菓子の名店「16区」のオーナーシェフ、パティシエとして活躍していらっしゃる三嶋隆夫さんを訪ねました。

取材…立川和美(社会学部講師)

福岡の修猷館高校をご卒業された後、流通経済大学の一期生として入学されたわけですが、どのような学生生活を送られたのですか。

経済学部には所属してはいたのですが、一年生の終わりごろ、勉強が面白くなってきて、先生から個人的に理論経済の勉強会のリーダーをしてほし

いと言われたんですね。ところが、私は一年生から名前だけでしたがラグビー部に在籍しており、ちょうど同じ頃本格的にラグビーを始めたという気持ちもあり、結局、ラグビーに力を入れていこうと決断しました。それから、ラグビー中心の大学生活になっていきましたね。

フォワードの中心選手として活躍され、部の中ではやさしきときびしさを持ち合わせたお人柄で人望が篤かったと伺っておりますが、ラグビー部での印象的なエピソードがありましたら、お聞かせください。

う実戦を経験し、本格的に動き出すうとしていた頃、クラブの中がギクシャクしていたんです。というのは、本気でやっている者と、遊びでやっている者が入り混じっているというのが実態で、これからしっかりやる気があるのか、はつきりさせたいという空気がありました。自分は二年

生から本格的に活動を始めたということもあり、このことについてはどうしても言い出せなかったんです。

自分が出すぎたはいけないと考えていたんですね。しかしこのまま進んでいくことはどうしてもできない、クラブをまとめたという思いで、「負けても勝っても体力の限界まで練習すべきだ」ということをミーティングで伝えました。もちろん、クラブの中での他の部員の立場を配慮しながらこういった話をするのはとても難しいことでした。そのとき黙ってそのままやりすこしてしまってもできたのですが、それでは自分が納得できなかった。「義を見てせざるは勇なきなり」といったところでしょうか。このとき、真剣な気持ちを伝えることの大切さや、集団の中での相手への配慮に対する努力について学んだと思います。

片付けも好きでしたから。しかし、この二つではずいぶんとかげ離れた選択ですよ。それに私は「続かなかつたらどうしよう」という不安がありました。あの時代、一回就職したら、その仕事を全うするというのが普通だったと思います。少なくとも当時の自分はそうでした。料理人を勧めてくれた友人に「ものにならないからどうしよう」と相談したところ、「だめならやめればいいじゃないか」という答えが返ってきたんです。今まで「やめる」という選択肢がなかった自分は、「気楽に「気楽」になりました。そこで、コックになったほうが「自分に責任がとれる」と考え、この道を選びました。

う考えのもとに判断をしてきました。今の時代、特に損得が横行していますが、むしろ公明正大であることによって自分自身に対しての「気持ちのよさ」を味わうことができると思います。社会や地域の「お役に立てた」というさわやかな気分ですね。ごまかす方法はいくらでもあるでしょうが、「お天道様に正々堂々と挨拶できるような人生」を歩んで生きたいと考えています。

たとえば、私は個人的には、司馬遼太郎の『坂の上の雲』などが好きですね。この作品を読むと、自分で目標を立てることができて、自分で求めた道を歩んでいけるということの素晴らしさを実感することができます。自分の歩みたい道を歩めない人もたくさんいます。いやだからといって簡単にあきらめることのないようにしてほしいです。どんなことでも、一生懸命に努力を続けていけば、必ず結果、結論は出ます。結果が出ないということは、まだまだ努力が足りていない、一生懸命やっていないということではないでしょうか。本日はどうもありがとうございました。

実は、マスコミになれれば良いなあと、新聞社への就職も少し考えていました。そんな時、ラグビー部の友人に「お前なら一流の料理人になれる」と言われ、「それもいいかもしれないな」とも考えるようになっていったんです。大学時代、見よう見まねで料理を作っていましたし、

現在のお仕事をしたいきっかけをお話いただけますでしょうか。

最後に流大生にひとことお願いいたします。

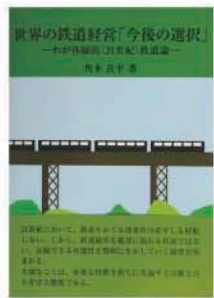
自分の気持ちをおぼれさせない、つまり一時の損得や好き嫌いでは、判断をしないということです。店のあり方、自分の生き方、家族、全てにおいてです。より「普遍的」なことが「自分の歩き方」であるという

伺った際にご馳走になったお菓子は、素材にこだわった逸品で、三嶋さんの温かく誠実なお人柄と、仕事に対する妥協を許さない姿勢がよく表れたものでした。こういったお人柄も、大学のラグビー部での経験から培われたところがあるのではないのでしょうか。若手の社員の方々にも気さくに声をかけられている姿がとても印象的でした。



出版会

【新刊のご案内】



定価 3,045 円
A5 判
204 頁

「世界の鉄道経営「今後の選択」

角本良平 著

鉄道輸送は、利用者か利用者以外（納税者等）がその経費を負担しなければ存続できない。20世紀後半、わが国も西ヨーロッパも米国も、この自明の法則を守ることに一時失敗した。

わが国は、日本国有鉄道（国鉄）の失敗をJR体制への移行によって解決した。その際、納税者には巨額の負担を残した。西ヨーロッパの多くの国は、上下分離方式を採用したものの、なお苦悩を続ける。スイスだけは在来方式

的（21世紀）鉄道論

のまま黒字に復帰できた。米国は経営の自主自立に徹底し、解決した。

本書はこれらの経過と将来対策を述べている。鉄道の存続に当たっては、利用者と納税者の負担可能な枠内に輸送と投資を抑制し、今後の鉄道政策としては、自立経営できるだけ輸送密度のある路線において、企業に自主性を与え、密度の低い路線に対しては、納税者からの支出を加えることが大切であることを説く。



留学生紹介

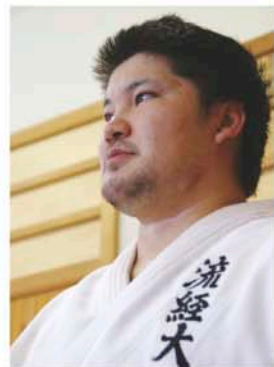
「目標は北京オリンピックです！」

法学部 / ビジネス法学科 / 3年

ENKHTUR BATTUR エンフトル・バットトル（モンゴル）

このたび、ブラジルで開催される世界柔道選手権大会にモンゴル代表選手として選抜された、エンフトル・バットトル君を紹介します。

取材：齋藤 明（総務課）



幼少時代はモンゴル相撲の力士に憧れていたバットトル君でしたが、中学生になる頃にはお兄さんの影響でクロスカントリーに夢中でした。

そんな彼の父の叔父が、『モンゴルの英雄』と呼ばれるバット・エルデン（モンゴル相撲、サンボ、柔道、日本のアマチュア相撲などの勇者）。この叔父の「柔道の受身や型を覚えれば、モンゴル相撲でも強くなれる」とのアドバイスがきっかけで彼は柔道に興味を持ちました。バットトル君十六歳の時のことです。

その後、柔道を本気で学ぼうと日本留学を決意し、岐阜第一高校に進学。その後、同校と結びつきの強い流通経済大学に入学しました。

——モンゴル代表として世界大会に出場する今の気持ちと、抱負を聞かせてください。

選ばれるとは思っていなかった

ので、とてもビックリしました。プレッシャーもあるけれど、今は自分でできることに全力でぶつかっていきたくと思っています。

ナウル・チョサテキ（経済学部 四年・フイジー代表）もいるので、二人でがんばりたい！

——大勢の柔道部員たちと寮生活を送っていますが、困ったこと、楽しかったことを教えてください。

柔道部の寮では、五人部屋で暮らしていますが、日本語？聞くのはいませんが、話すのは難しいです。言いたいことはあるのにコトバが浮かばなくて、たまに困ります（笑）。大勢の部員たちとの毎日、とても楽しい！寮の食事もおいしいです！！

——学長先生をはじめ、大学の教職員のみなさんや学生のみなさん、柔道部の監督や仲間たちにとっても感謝しています。この機会に「ありがとうございます」と伝えて欲しいです。

——卒業後の進路についてどう考えていますか？

卒業したらモンゴルに戻って柔道を広めていきたいと思っています。

でも今は来年の北京オリンピックが最大の目標ですね！その次のロンドンも目指したいです。

「大学生諸君！今求められる問題解決力」

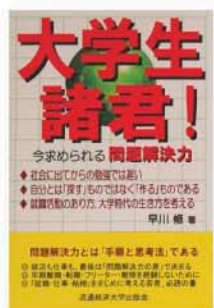
早川修 著

新聞には「団塊の世代退職」「景気の回復」「人手不足感強まる」「正社員指向」そして「はや争奪戦」など採用関係の見出しが躍る。人材が「量より質」である社会は変わらない。

本書は、現代の大学生に内在する安穩症候群の払拭と競争の厳しい社会を生き抜く原動力として、在学時に「問題解決力を身に付けることが大切である」ことを説く。社会に出てからの問題解決力では遅すぎるとの警鐘でもある。

一般に、問題解決力は、ビジネス分野のテーマとして扱われるが、「就職活動のあり方および大学生としての生き方」にもテーマを広げ、具体的な記述がさらに理解を容易にさせる。

大学生が今すぐに「問題解決力」を武器に、自らの手で「人生の扉」を開かれることを切望する。本書がその一助になれば幸いである。是非多くの方にお読みいただきたい。



定価 1,260 円
四六判
162 頁

校友会



第一期卒業生同期会

ステークホルダーとしての卒業生組織、「校友会」を発展させましょう。

建学時に入学した団塊の世代が、2007年以降次々に定年を迎えつつあります。これを期に、校友会ではセカンドライフの初期動作として、逐次、同期会のお世話を進めたいと考えています。

卒業後にあまり接点を持つことのない学校とのかかわりも、同期会という一堂に会する機会をとおして生まれます。もう一度母校での青春時代を思い出してみませんか。本年はすでに卒業生の一期生と二期生の同期会が開催されました。

校友会では次に続く皆さんの集いを全力で支援していきます。

流通経済大学 Q&A

このコーナーでは大学に問合せが多い質問についてお答えします。

Q 奨学金って誰でも無条件にももらえるのですか？

A 「大学に行きたい」…でも、親にお金の心配をかけたくないなあなど、家庭事情や経済的理由により進学や修学が困難な生徒が問題なく、自分の能力や適性にあった進路を自由に選択し、意欲的に学業に専念できるよう経済的、精神的に支援していく制度を奨学金制度(以降、奨学金)といます。本学では、数種類の奨学金を採用し学生に充実した学生生活を提供できるよう努力しています。2007年度現在で、全学生の4分の1にあたる約1,400人の学生が何らかの奨学金を利用しており、学生生活に広く浸透しています。

※代表的な奨学金

- 1 日本学生支援機構奨学金
- 2 都道府県市その他団体の奨学金
- 3 日本通運育英会奨学金
- 4 流通経済大学後援会奨学金

Q 学生寮に入りたいのですが？

A 本学には、「学生寮」はありません。そのかわりに、各キャンパス周辺の不動産業者と連携し、近隣のアパートを安価で紹介するコーナーを毎年2月・3月に開設しています。アパートの多くは、徒歩や自転車で通学できる場所にあり、各種ショッピングセンターにも近い

ので生活に必要なものを揃えることもできます。ちなみに、1ヶ月の家賃相場は龍ヶ崎キャンパスで約2万5千円～4万円、新松戸キャンパスで約5万円～6万円程度です。

Q 2年目以降の学費はいくらになりますか？

A 学費は、2年目以降スライド制となり、「前年度の金額にそれぞれ人事院勧告(前年度)による改定率(ベア+定昇率)を乗じた額を加減した金額」となります。従って、2年目以降の学費を詳細に出すことはできませんが、概ね下記の表のとおりになります。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	備考	
学費	入学金	○	—	—	—	入学手続時
	授業料(前・後期)	○	○	○	○	
	施設拡充費	○	○	○	○	
	課外活動振興費	○	○	○	○	
	実習料	○	○	○	○	
諸会費(代理徴収)	後援会費	○	—	—	—	4ヶ年分一次払い
	学生会費	○	—	—	—	
	学生教育研究災害備蓄保険料	○	—	—	—	

上記の他に、論集購読料が1,000円(スポーツ健康科学部は500円)、経済学部及びスポーツ健康科学部は任意。社会学部、流通情報学部、法学部は全員納入。

[編集後記]

- めっきり秋めいた龍ヶ崎キャンパスには、草叢から涼しげな虫の音が響いている。
- さて、電車の中でも大学でもヘッドホンで音楽を聴いている姿をよく見かけるが、最近『ノイズリダクション(雑音を低減させるしくみ)』が搭載されているものが増えてきた。私たちの周りには案外と気になる音が溢れており、楽曲に集中しにくいことが要因のひとつらしい。
- 実はこのヘッドホン、音楽鑑賞だけでなく、仕事や勉強に集中したいときやゆっくりしたいときにも効果的なのだそう。
- 確かに騒音や環境音だけにどまらず、様々な情報が氾濫する現代には、こうした「雑音」をカットするフィルター機能はとて便利で都合がよい。
- とはいえ、人間にはたくさんの情報の中から特定のモノだけを拾取選択する能力が備わっている。乳児が自分の母親を認識できるのはまさにその最たるものであろう。なんでも機械まかせにしてしまうと、ヒト本来の機能が鈍ってしまいそうで怖い。
- 社会人の一歩手前にいる学生たちには、自らの「フィルター」をブラッシュアップしつつ、キャンパスライフを一杯に楽しんでもらいたいと願う。
- 今後も読者の皆様のご意見を取り入れながら、誌面の充実に向けてゆきたいと思っている。(編集子)

講演会「近現代日本のナショナリズム」開催のお知らせ

流通経済大学三宅雪嶺記念資料館では、下記のように講演会を開催いたします。どうぞ、お気軽にご参加下さい。(入場自由・無料)

講演会「近現代日本のナショナリズムを考える」
開催日時：2007年12月1日(土) 13:00～16:00
開催場所：流通経済大学 新松戸キャンパス 講堂

1. 「近現代日本のナショナリズム」
佐伯弘治先生(本学学長・当館館長)
近現代日本のナショナリズム団体の動向について、明治以来の時代状況とともにお伝えいたします。
2. 「三宅雪嶺のナショナリズムとその今日的意義」
佐藤能丸先生(早稲田大学・慶應義塾大学講師)
三宅雪嶺の明治20年代における国粹保存運動を始めとするナショナリズムの内容と今日的意義についてお伝えいたします。
3. 「記憶する三宅雪嶺の考え方」
三宅立雄先生(本学名誉教授・三宅雪嶺嫡孫)
日常生活のなかで接した日本や日本をめぐる国際関係についての三宅雪嶺の考え方をお伝えいたします。

当日、講演会会場の講堂前のホワイエにて12:00～17:00まで、企画展「三宅雪嶺の肖像」もあわせて開催いたします。お問い合わせ先/流通経済大学総務課 TEL:0297-60-1151

全学

9月18日 秋学期授業開始
29日 春学期卒業式

就職関連

9月20日 R:自己分析ガイダンス
21日 S:自己分析ガイダンス
27日 S:第4回就職ガイダンス(～9/28)
10月3日 R:第4回就職ガイダンス(～10/4)
10日 R:今から始める就職活動
11日 S:就職活動体験発表会(～10/12)
18日 R:就職活動体験発表会(～10/19)
19日 S:履歴書作成講座
24日 S:留学生就職ガイダンス
26日 R:履歴書作成講座
29日 S:今から始める就職活動
11月8日 R:第5回就職ガイダンス(～11/9)
S:履歴書・エントリーシート作成講座
11月9日 S:第1回就職セミナー
13日 S:第5回就職ガイダンス(～11/14)
14日 R:第1回就職セミナー
17日 R:指定校/公募制推薦入試
18日 R:留学生入試/編・転入入試
19日 S:公務員採用試験説明会(～11/21)
20日 R:公務員採用試験説明会(～11/22)
22日 S:履歴書・エントリーシート作成講座
26日 R:履歴書・エントリーシート作成講座(～11/27)
12月1日 R:第6回就職ガイダンス
5日 R:グループディスカッション講座
6日 R:第2回就職セミナー
S:女子学生ガイダンス
7日 R:女子学生ガイダンス
S:グループ・ディスカッション講座
8日 S:第6回就職ガイダンス
10日 R:マナー講座
12日 R:履歴書・エントリーシート作成講座
13日 S:履歴書・エントリーシート作成講座
14日 S:マナー講座
21日 S:履歴書・エントリーシート作成講座

RKU Schedule

2007年9月～12月

R:龍ヶ崎キャンパス S:新松戸キャンパス

入試関連

9月22日 S:オープンキャンパス
29日 R:AO入試
10月13日 R:オープンキャンパス
27日 R:AO入試
S:オープンキャンパス
11月10日 R:付属高/教育提携校推薦入試
11日 S:日本留学試験(試験会場)
17日 R:指定校/公募制推薦入試
18日 R:留学生/編・転入試験
24日 R:AO入試
12月15日 R:AO/公募制推薦入試

催し

10月6日 S:市民大学講座
13日 S:市民大学講座
20日 S:市民大学講座
27日 S:市民大学講座
11月3日 R:つくばね祭(～11/4)
23日 S:新松戸イルミネーション点灯式
12月1日 S:三宅雪嶺資料館講演会
9日 S:合唱部 定期演奏会
24日 R:合唱部 定期演奏会
S:光のフェスタ 表彰式

その他

10月31日 海浜実習(～11/6)
11月1日 創立記念日
12月25日 冬季休業(～1/5)

流経大付属柏高校が初V!

10月8日、サッカーの18歳以下(U18)による高円宮杯第18回全日本ユース選手権において、初優勝を飾りました。



流通経済大学広報誌 RKU TODAY vol.1
2007年10月発行

編集・発行 流通経済大学企画広報室
茨城県龍ヶ崎市120 〒301-8555
TEL: 0297-60-1361